



鹿児島県川辺町の清水地区は、桜並木や紅葉が美しく、平家の落人が刻んだ磨崖仏群も残り、自然と歴史の調和した地域である。こうした環境の中で岩屋公園の整備が進められ、園内の連絡橋として設けられたのが「平安橋」である。

平安橋は、延長三十八メートル、幅三・二メートルのトラス桁二連構造の木造アーチ橋で、木のぬくもりとやさしさを創出するため木肌そのままの姿で構築され素材にはスギとヒノキが用いられている。また、川辺町は仏壇生産の盛んなところで、橋の構築には仏壇の製造技術を随所に取り入れ、使用した金具類も仏壇に使用されているものである。

木製のトラス構造でつくられた橋は珍しく、地場産業の技術を生かしたユニークな橋である。

DATA・BOARD 29



- ① 鹿児島県川辺郡川辺町清水
- ② 延長：38m、幅員：3.2m
- ④ 県産スギ材、カナダ産ヒノキ材